

ヒロシマ虹のひろば

《虹のステージ》



市長の
メッセージ



1945年8月6日、広島は一発の原子爆弾により焦土と化し、幾万という人々が炎に焼かれ、その年の暮れまでに、約14万もの尊い命が奪われました。辛うじて生き延びた人々も深刻な心身の後遺症や差別・偏見に苦しめられてきました。核兵器は非人道の極みであり、「絶対悪」です。

この「絶対悪」を無くすためには、「こんな思いを他の誰にもさせてはならない」という被爆者の思いを受け止め、人と人とのつながりを大切にした未来志向の対話ができる世界を築く必要があります。

本市が会長都市を務め、加盟都市が161か国・地域の7,000を超えた平和首長会議は、2020年までの核兵器廃絶を目指して核兵器禁止条約の交渉開始に向けた流れを加速させるために全力で取り組んでいます。その主な取組である市民署名活動には、生活協同組合の皆様を始めとする多くの方々に御協力を頂いており、改めて感謝申し上げます。

皆様には今後とも、被爆者の願いに応え「絶対悪」である核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現に向け、共に力を尽くし行動してくださることを心から期待しています。

平成28年(2016年)8月5日

広島市長 松井 一實